

祖母の家

福岡県八女市
八女市立矢部中学校2年

石川 礼香

私の家から数キロ離れた所に祖母の家があります。小さい頃から祖母の家には、たくさんのお茶畑を感じてきました。それは、なんでも、シャクナゲ、チューリップなどいろいろな草花や、栗の木、お茶畑、たらのめなどの樹木です。中でももっとも四季を感じるもの。それは、祖母が畑で作っている野菜です。祖母の家に行くと、必ず祖母は畑でとれた野菜を使った料理を出して

くれます。その野菜は、スープで売っているものとはちがい、甘みを感じたり、苦味を感じたり色々な味がします。

私はそんな、祖母の作る野菜が大好きです。

栗の木は、私の小さい頃からあり、庭のお茶畑のわきに一本立っています。栗の木の高さは、四メートルくらいで、幹の太さは子どもが手をまわせるくらいのもので、栗を毎年食べるのが楽しみです。栗拾いもします。足で、栗のまわりにある「トゲ」を剥いて、火ばさみで実をとります。「トゲ」を剥くのは、少し力がいるので、大変です。

そして、近くに川もあり、以前は夏になると、その川で泳いでいました。しかし、5年前の九州北部豪雨で、泳いでいた所や、いつも見ていた木や石がすべて流されてしまいました。私は、その変わり果てた姿を見て、小さな頃の思い出までも全部流されたような気がしました。被害はそれだけではありませんでした。豪雨で川が増水し、祖母の畑や家など色々な所まで水がきました。その時は心配しましたが、なんとか大丈夫でした。

冬にはたくさん雪が積もります。お茶畑を見ると雪が積もり、少しだけ見えるお茶の葉や、花につもった

雪が、昼には、雪がとけ、キラキラ光つてとてもきれいだなあと思います。雪の上を、犬と歩いたり、走ったりするのも大好きです。

私の住んでいる矢部村や、祖母の家はここでしかできないことがたくさんあって、大切な思い出をつくれる場所だと改めて思いました。

最近では昔に比べると、祖母の家にいく機会が減り、野菜の収穫や畑の草とりなどの手伝いがあまりできないので、時間を見つけて、また行きたいと思います。

そして、栗を拾ったり、紅葉を見たりしながら、祖母と沢山話をしようと思います。